



平成28年度 事業報告書

特定非営利活動法人believe

1 事業の成果

児童福祉法に基づくしょうがい児通所支援事業

・児童発達支援事業

個別支援計画書に基づき、ADL自立に向けてスモールステップで取り組みました。食器操作性の向上、トイレトレーニング、着脱等、ひとりひとりがスキルアップできました。集団療育としては、日々のやりとりの中でコミュニケーションやルールの有る遊びの展開等集団活動参加に必要なソーシャルスキルの向上に取り組みました。音楽教室、リトミックの活動を通じては、模倣、合わせる力、聴知覚と運動の協応、身体のコントロール等の上達が見られました。心理士による認知・対応の力を育むサーキットゲームも取り組み始めました。

運動面では、週一回の作業療法士プログラムの他、様々な公園での遊具、夏のプール遊びを通じて、各々ボディイメージと身体の使い方の上達や自信を見せてくれました。

行事としては、春秋の遠足、運動会、クリスマス会等実施しました。さつまいも、玉ねぎ等、畑での収穫も体験し、自然との触れ合い、食育の良い機会となりました。様々な製作活動にも取り組みました。

家庭支援としては、年二回の面談の他、保護者勉強会を実施でき、相談や交流の機会を作ることができました。新入園児の保護者には、日々の連絡帳に加え、小ノートをやり取りして、わが子のしょうがい受容、前向きな理解と対応を丁寧に導くようにしました。

・放課後等デイサービス事業

少人数での音楽教室、リトミックではバラエティに富んだ課題で、音楽の楽しさを味わい、おやつ作りの活動では各々の役割発揮、共同活動の楽しさを味わいました。体が大きくなって、エネルギーが豊富な年代なので、戸外活動を充実させて、爽快感を味わえるようにしました。ひとりひとりの意思表出や好奇心を細やかにくみ取り、達成感と承認の機会を尊重するようにしました。

お友達の誕生日には、おやつを作ってお祝いする等仲間意識を育てていきました。

科学館等へのお出掛け、茶道体験やフラワーアレンジメント体験の機会を作りました。ラディッシュや大根、玉ねぎ、じゃがいも等様々な収穫体験もできました。収穫した野菜は近隣の住民にお配りし、地域交流の機会としました。

おやつ買いでは、地域の様々なお店へ行き、好きなものを選び、地域交流の良い機会となりました。

家庭支援としては、年二回の面談の他クリスマス会での家族交流、学校等連携訪問、保護者向け勉強会を実施しました。他事業所との支援者会議も開き、連絡帳の他にLINE相談等を取り入れる等子どもの発達を多角的に捉えて支援できるよう拡充しました。

相談支援事業

しょうがい児相談支援事業および特定相談支援事業

平成28年11月1日より、相談支援事業所Kanonを開所しました。地域で広く、切れ目なく、連携して支援が行われるよう、しょうがい児支援計画策定後の支援者会議やモニタリング

等にも力を注ぎました。1件1件丁寧に相談を行い、公的サービスに結びついていなかったご家庭の支援も行うことが出来ました。地域における法人としての信頼と役割を、より確固たるものにすることが出来ました。

2 事業の実施に関する事項（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
児童福祉法に基づくしょうがい児通所支援事業	児童発達支援	月～金 9:30～13:30	事業所	5人	草加市と近隣地域の児童 8人	6,985
	放課後等デイサービス	月～金 15:00～17:30 (月～金 13:30～17:30 学校休業日)	事業所	5人	草加市と近隣地域の児童 25人	6,985
児童福祉法に基づくしょうがい児相談支援事業	しょうがい児相談支援 (平成28年11月開始)	通期	事業所	2人	草加市と近隣地域の児童 33人	504
しょうがい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく特定相談支援事業	特定相談支援(平成28年11月開始)	通期	事業所	2人	草加市と近隣地域の成人 1人	504
しょうがい福祉サービス事業	就労継続支援B型 (平成30年度整備予定)	通期	事業所	6人	草加市と近隣地域の成人 20人	0

8
平成29年度 活動計算書

28年4月1日から29年3月31日

特定非営利活動法人believe
代表理事 近藤 啓之
(単位:円)

科 目	金 額		
I 自立支援費等収入			
1 しょうがい児施設等給付収入			
しょうがい児通所支援			
しょうがい児(者)相談支援	23,322,456	23,322,456	
2 利用料収入	1,201,049	1,201,049	
3 寄付金			
正会員受取会費	36,000		
賛助会員受取会費	134,000		
受取会費計		170,000	
事業収入計(A)			24,693,505
II 事業費用			
1 事業費			
(1)人件費			
給料手当	14,978,259		
人件費計		14,978,259	
(2)その他の経費			
法定福利費	2,894,800		
給食費	808,704		
水道光熱費	128,421		
建物質借料・駐車料	1,548,480		
ガソリン代	479,181		
公租公課	678,800		
保険料	420,370		
事務用品	41,861		
研修費	26,000		
その他	1,977,619		
その他の経費計		9,004,236	
事業費計			23,982,495
III 管理費用			
1 管理費			
(1)人件費			
(2)その他の経費			
管理費計			0
経常費用計(B)			23,982,495
経常増減額(A-B)			711,010
IV 経常外収益			
受取利息	13		
経常外収益計(C)		13	
V 経常外費用			
支払利息	1,017		
経常外費用計(D)		1,017	
当期経常増減額(A-B+C-D)			710,006
①前期正味財産額			6,499,646
②当期正味財産額			710,006
次期繰越正味財産額(①+②)			7,209,652

貸借対照表

平成29年3月31日現在

特定非営利活動法人believe
代表理事 近藤 啓之
(単位:円)

科目			
I 資産の部			
1 流動資産			
現金・預金	10,366,158		
流動資産合計		10,366,158	
2 固定資産			
運搬車両	2,739,766		
造作・設備	350,012		
敷金	190,000		
固定資産合計		3,279,778	
資産合計			13,645,936
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金	378,000 2,400,000		
流動負債合計		2,778,000	
2 固定負債			
長期借入金	3,658,284		
固定負債合計		3,658,284	
負債合計			6,436,284
III 正味財産額の部			
前期繰越正味財産	6,499,646		
当期正味財産増減額(減少額)	710,006		
正味財産合計			7,209,652
負債及び正味財産合計			13,645,936

財産目録

平成29年3月31日現在

特定非営利活動法人believe
代表理事 近藤 啓之
(単位:円)

科目			
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	手持現金	11,204	11,204
預金	ゆうちょ銀行	3,255,902	
	瀧野川信金	7,099,052	
			10,354,954
流動資産合計			10,366,158
2 固定資産			
運搬車両		1,097,131	
		1,057,635	
		585,000	
			2,739,766
造作・設備		350,012	
敷金		190,000	
			540,012
固定資産合計			3,279,778
資産合計			13,645,936
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金	日本政策金融公庫	378,000	
		2,400,000	
流動負債合計			2,778,000
2 固定負債			
長期借入金		3,658,284	
固定負債合計			3,658,284
負債合計			6,436,284
前期繰越正味財産		6,499,646	
当期正味財産増減額(減少額)		710,006	
正味財産合計			7,209,652
負債・正味財産合計			13,645,936